

# 第18回糸魚川市教育委員会定例会会議録

- 1 日時 令和2年10月27日(火) 15時30分から
- 2 会場 糸魚川市役所 201.202会議室
- 3 出席委員 教育長 井川 賢一  
委員 永野 雅美  
委員 靄本 修一  
委員 谷口 一之  
委員 塚田 京子
- 4 欠席委員 なし
- 5 委員以外の出席者  
教育次長 磯野 茂  
こども課 課長 磯野 豊 課長補佐 室橋 淳次  
係長 関澤 仁  
こども教育課 課長 富永 浩文  
係長 川原 隆行  
生涯学習課 課長 穂苺 真  
文化振興課 課長 伊藤章一郎 課長補佐 伊藤 伸一  
博物館 館長 竹之内 耕  
市民会館 係長 榊 正喜  
書記 こども課主査 佐藤 恵美
- 6 報 告  
報告第 25号 各課・機関所管事項について
- 7 会議録署名委員の指名 3番 谷口委員
- 8 傍聴者 2人

教育長	これより第18回教育委員会定例会を開会する。
教育長	報告第25号、各課機関所管事項について、事務局の説明を求める。
	(資料に基づいて説明)
	こども課 所管事項報告
	こども教育課 所管事項報告
	生涯学習課 所管事項報告
	文化振興課 所管事項報告
	図書館 所管事項報告
	博物館 所管事項報告
	市民会館 所管事項報告
	こども課 規則等の制定・改正
教育長 靄本委員	今ほどの説明について、ご質疑はないか。 会議前段の視察研修で、これまで報告のあった施設を見学でき、大変感動した。 生涯学習の観点から、興味関心を持つ方やマスコミ関係者の見学会等を実施し、情報発信に力を入れることで、より一層、市民の関心が高まっていく。自分たちの郷土に自信を持ち、それがさらに発信する力になっていくと思う。
塚田委員	今回の視察で糸魚川市のすばらしさを再確認することができた。子どもたちが実際に見て触れて感じる、体験する機会を増やしてあげたい。
教育次長	情報発信することで、市民や子どもたちにも広がっていく。視察した箇所は、より身近に安全に見学できるよう、整備等を検討していきたい。
靄本委員	11月12日開催予定のキャリアフェスティバルについて、今後、継続する予定はあるか。また、実施後、どのような方法での評価を考えているか。
こども課長補佐	今後も継続していきたい。今回は初めての開催で、実施することが非常に大事であるが、次年度以降もさらに発展させ、つなげていきたい。評価方法は具体的に考えていないが、子どもに地域をよく知ってもらい、地域の大人と触れ合い、気持ちを感じることでできる内容を考えていきたい。
教育長 靄本委員	教育懇談会のように継続させ、積み上げ、成果をあげていきたい。 参加した子どもたちからアンケートやレポートをもらい、子どもたちがどのように感じたか、また、そのことで自分の新たな考え方が生まれたか、新しい発見があったかを聞いてほしい。今後、子どもたちが運営に参画することで、より主体的なイベントとなると思う。
こども課長	子どもたちは各学校で事前に学習をして、自分が興味をもつ企業を知り、考えを深めてもらい当日参加してもらおう。終了後は、気持ちにどん

	な変化があったかなど、アンケートもとる予定である。今後は、伊那市のように子どもたちも運営に携われるような、子どもたち主体のイベントにしていきたい。
教育次長 教育長	子どもたちの感想や意見を、次回へ反映できるよう考えていきたい。今年度は中学3年生が対象であったが、今後、参加学年をどのようにしていくか。
永野委員 こども課長	中学2年生を対象としたイベントが理想的である。事前に中学校と協議する中で、現在、中学2年生で職場体験を実施していることから、今年度は中学3年生を対象とした。参加対象の学年は、今後また検証したい。
教育長	中学3年生を対象とする実施であれば、開催時期も考える必要がある。実行委員会等でも、しっかり検討してほしい。
永野委員	子どもたちが運営に携わるとなれば、中学3年生は受験も控えており、難しい。各学校の事前学習は、4校同じ内容の学習でなければならぬし、実施後も感想や意見を次回へ生かす振り返りが大切である。
こども課長	事前学習も4校同じ資料を使用している。また、参加する企業にも同じ資料を読んでもらい、子どもたちに対応してもらおうこととしている。
靄本委員	科学研究発表会と自然体験発表会について、ジオパーク関連の発表はあったか。学校での学びが家庭へ広がり、夏休みに親子で体験するなど、自主的にジオと関わる子どもたちを増やしていきたい。
こども教育課長	発表の多くは学校での学びや、糸魚川の自然、または日常的な生活の中での経験が研究に取り込まれており、保護者と一緒の取り組みもあった。これと同じく、ジオパーク学習で興味を持ったことを追求する場面もあると思う。また、親の職業から興味を持った研究もあり、さらには、キャリア教育にも関わっていることを感じた。
靄本委員	発表会だけでなく、ミュージアム等に子どもたちのジオ学習等の体験発表を紹介するスペースを設けてほしい。自分の発表が展示されることで、子どもたちの自信にもつながり、それが市民レベルへのジオ学を広めることにもつながると考える。ぜひ、取り組んでほしい。
こども教育課長	ご意見について、実現できるよう検討していきたい。
靄本委員	人事異動方針説明会について、異動基準も含め、変更点はあるのか。
こども教育課長	基本的な変更点はないが、特別支援教育に関して人材確保が難しいことから、特別支援学校に新採用勤務した教職員が3年後、異動する際、次は通常学校の特別支援学級を担任する規制がなくなったことが来年度の大きな変更点である。
谷口委員	県へき地・複式教育研究大会糸魚川大会について、子どもの数が減少し、複式の学校が増えてきているが、継承する場が非常に少なく、特に若い教員は勤務をしながら、ベテラン教員から指導を受けることが多い。県の単位で大きな大会が開催されることは、大変有意義であるが、コロナ禍で制約も多い中、どのように実施する予定か。

こども教育課長	県のへき地・複式教育研究大会は、県内の会員から参加いただき、各学校での研究等を全体場で共有する分科会と全体会を実施するものであったが、今回は、市内参加者を中心としている。一部、市外からの参加者の報告も受けている。ここでの研究が、県内に広がることも期待したい。また、今回の市内各校でのオンライン対応をしての実施は、研究大会のモデルケースとなっていくと思う。
谷口委員	多くの市町村では、複式になる人数となる学校は、統合されることが多い。必ずしも数の部分だけでなく、指導力等があれば、複式となっても、子どもたちに力を十分に付けさせることは可能である。ぜひ、教育委員会からも、積極的に複式指導の研修を実施してほしい。
教育長	今回の大会で、市外からオンライン参加の形式をとる予定はあるか。
こども教育課長	市外への配信は主催者側に確認をしていないが、ないものと認識している。可能であれば検討したい。
教育長	新型コロナウイルス感染が拡大している中、オンラインを取り入れ、できるだけ多くの方が参加できるよう対応してほしい。
靄本委員	陰山メソッド全国大会の開催日が近づいてきた。参加人数制限もあるようだが、上越市や妙高市との3市の連携であったり、開催案内等は各所へ発信されたか。
こども教育課長	3市の指導主事が会した指導主事連絡会でも、連絡や案内をした。また、大学や教育事務所からも参加の報告をいただいている。
塚田委員	成人を祝う事業は、遠方に住む方も視聴できるのか。
生涯学習課長	リアルタイムではないが、今回撮影した動画をユーチューブで配信する予定として、成人の方にはお知らせしている。
永野委員	女性の意見を聴く会は、インターネット配信されるのか。
教育長	インターネット配信はないが、議場で行われるため、傍聴は可能である。
永野委員	教育委員会の関連ではどんな質問事項があるのか。
こども課長補佐	こども医療費助成、出産祝い金、病児保育、不妊治療、小学校統合、安全な登下校、幼稚園・保育園の現状についてなどとなっている。
教育長	答弁内容について、まとめれば報告したい。
教育長	ほかにご意見はないか。
委員	(「なし」の声あり。)
教育次長	次回教育委員会定例会開催日 令和2年11月26日(木)14時より その他 特になし
教育長	以上で第18回教育委員会定例会を閉会とする。

16:25 終了